「経営戦略を自己分析 進むべき道見極めて」

せいしんビジネスクラブ講演会



西濃で生き残るビジネスモデルをテーマに開かれた講演会＝本巣市上真桑、岐阜工業高等専門学校

岐阜工業高等専門学校(本巣市上真桑)の地域連携協力会と西濃信用金庫の取引先企業でつくる「せいしんビジネスクラブ」は、「西濃で生き残るビジネスモデルを考えてみよう」をテーマに講演会を同校で開いた。

同協力会と同クラブによる地域活性化セミナーの一環。講師は水谷IT支援事務所の水谷哲也所長。企業や店舗を取り巻く環境が刻々と変化する中、西濃地域で10年後も生き残るための経営戦略について約100人を前に熱弁した。

水谷氏は、自社の強み、弱み、市場の様子を分析した上で「自社はどの方向でどの方向に進むのかが重要」と強調。勝ち残るビジネスモデルは「ニーズに合った独創的商品でだれもがやっていない売り方、サービスを提供すること」と訴えた。

無断複製・転載を禁じます